

金ヶ作中学校学習の指針(シラバス)

教科	社会	学年	1年生
----	----	----	-----

1 学習の目標

- (1) 地球儀や世界地図を繰り返し活用し、緯度と経度、大陸と海洋の分布、主な国々の名称と位置、世界の人々の生活や環境、六つの州に暮らす人々の生活の様子などの知識を深めましょう。
- (2) 日本の位置、日本と世界との時差、日本の領域の特色、47都道府県の県名と県庁所在地の位置、地域区分を正確に理解しましょう。
- (3) 人類の生活の始まりから文明の発生と中国を中心とする世界の古代文明と宗教の起こりについて知識を深めましょう。日本の原始時代から平安時代までの主な出来事を整理し、文化の国風化が進んだことを理解しましょう。
- (4) 武士の登場と成長、鎌倉幕府の成立と特色、室町幕府の成立と特色を整理し、理解を深めましょう。また、鎌倉幕府と室町幕府の政治を比較し、時代背景や経済の変動・発展、民衆の成長についての知識を深めましょう。

教科書・副教材等：地図帳 資料集（浜島書店「学び考える歴史」） ワーク（新学社「自主学習ノート」）

2 学習の計画

学期	学習内容	学習のねらい
1 学 期	【地理】 第1編 世界と日本の姿 第1章 世界の姿 第2章 日本の姿	<ul style="list-style-type: none"> ・世界の国々に対する関心を高めるとともに、地球儀や地図帳を目的に応じて活用できる。 ・地球上の位置関係で生じるさまざまな事象を理解する。 ・世界の大陸や大洋、おもな国々の名称と位置をとらえ、世界の略地図を描くことができる。
	【歴史】 第1章 歴史の流れ 第2章 古代までの日本 1 世界の古代文明と宗教のおこり 2 日本列島の誕生と大陸との交流	<ul style="list-style-type: none"> ・年代の表し方や時代区分がわかる。 ・人類の出現と古代文明のおこり、日本列島における人々の生活や文化の変化を理解する。 ・大陸の制度や文化を取り入れながら国の仕組みを整えていったことや、古代国家の政治や文化など時代の特色と移り変わりを理解する。
2 学 期	【歴史】 第2章 古代までの日本(続き) 3 古代国家の歩みと東アジア世界	
	【地理】 第2編 世界の様々な地域 第2章 世界各地の人々の生活と環境 第3章 世界の諸地域 1 アジア州 2 ヨーロッパ州 3 アフリカ州	<ul style="list-style-type: none"> ・雨温図、主題図、各種グラフの読み方を身につける。 ・世界を6つの地域に分け、自然環境、文化、産業などを通して日本との関わりについて理解する。 ・それぞれの地域の特色や共通性を理解し、地域の課題を考えられるようにする。
3 学 期	【歴史】 第3章 中世の日本 1 武士の政権の成立 2 ユーラシアの動きと武士の政治の展開	<ul style="list-style-type: none"> ・武士のおこりから武士の政権誕生までの社会の動きと、武士や民衆、政治や文化の変化の様子を理解する。 ・新しい支配のしくみ、封建制度を理解する。 ・ユーラシアの動きや日本との関わりを元寇を通して理解し、その後の日本への影響について理解する。
	【地理】 第2章 世界の諸地域(続き) 4 北アメリカ州 5 南アメリカ州 6 オセアニア州 第2編 日本の様々な地域 第2章 地域調査の手法	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの地域の特色や共通性を理解し、地域の課題を考えられるようにする。 ・世界の諸地域の学習を踏まえて、身近な地域の調査を行う。調査内容発表会等で報告をする。
	【歴史】 第4章 近世の日本 1 ヨーロッパ人との出会いと全国統一	<ul style="list-style-type: none"> ・ヨーロッパ人の来航の背景とその影響、織田・豊臣の統一事業とその当時の対外関係、武将や豪商などの生活文化の展開などを基に、近世社会の基礎が作られたことを理解する。

3 評価の観点・方法(どのような点が、どのような場面で評価されるか。)

観 点	観点の内容(地理)	観点の内容(歴史)	評価の視点・方法
知識・技能	我が国の国土及び世界の諸地域に関して、地域の諸事情や地域的特色を理解しているとともに、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。	我が国の歴史の大きな流れを、世界の背景に、各時代の特色を踏まえて理解しているとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。	事実的な知識の習得と知識の概念的な理解を問うペーパーテスト、ワークシートへの記述等で評価
思考・判断 ・表現	地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて公正に選択・判断したり、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりしている。	歴史に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し複数の立場や意見を踏まえて公正に選択・判断したり、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりしている。	グループでの話し合いや発表、ワークシートへの記述、思考力を問うペーパーテスト等で評価
主体的に学習 に取り組む態度	日本や世界の地域に関わる諸事象について、国家及び社会の担い手として、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題の主体的に追究、解決しようとしている。	歴史に関わる諸事象について、国家及び社会の担い手として、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題の主体的に追究、解決しようとしている。	単元のまとめのワークシートの記述等で、学習を振り返り、さらに調べたいことやよく分からなかったことを整理し、これからの学習に意欲的に取り組もうとしているかなどを評価

4 学習目標を達成するためのアドバイス

(1) 授業の受け方

- ① 学習用具には教科書、地図帳、資料集、ノートなどがありますが、毎時必要に応じて用意します。作業等で色鉛筆を使うこともあるので常備しておくといいでしょ。
- ② 授業では、設問をよく読み、また先生の質問や指示をしっかりと聞いて課題や作業に取り組みましょう。
- ③ 話し合いのときと、自分(ひとり)で考えるときをしっかりと区別しましょう。

(2) ノートの作り方(とり方)

- ① 地理と歴史とは別に用意します
- ② 学習プリントは授業ごとにノートに貼っていきます。重要語句等はアンダーラインを引くなどの工夫をしましょう。
- ③ その他、気づいたことがあったら書きとめておきます。
- ④ 最後までやり終えることができなかつた箇所は、家に帰ってから補っておきましょう。

(3) 家庭での勉強の仕方(予習、復習、宿題等)

- ① 予習・・・特別な場合(事前調査など)を除き、必要ありません。
- ② 復習・・・その日に学習した内容を、ノートを見ながら思い出してみましょう。そして、重要語句などのポイントを意識しながら教科書を音読してみましょう。
※アドバイス・・・重要語句や年表は、単語帳を作ると覚えやすいものです。
- ③ 宿題・・・夏休みには課題があります。学期中は簡単な作業程度(授業中に終わられなかつた場合が中心です)の宿題を出すことがあります。

金ヶ作中学校学習の指針(シラバス)

教科	社会
----	----

学年	2年生
----	-----

1 学習の目標

- (1) 日本の地形や気候の特色、地域区分を正確に理解しましょう。また、日本全体の視野から大まかな国内の地域差についての知識を深めましょう。
- (2) 日本の7つの地域のそれぞれの特色を地図や統計、写真などの資料を使って正確に理解しましょう。
- (3) ヨーロッパ世界がアジアに進出し、日本の社会に大きな影響を与える過程や変容を整理しましょう。江戸幕府の政策の特色を整理して理解を深めましょう。また、農業や諸産業の発達、交通の整備、都市の繁栄についての知識を深めましょう。
- (4) 日本の近代社会の形成に大きく影響した17～19世の欧米諸国の様子を正確に整理しましょう。江戸幕府の滅亡の流れや明治新政府の成立の過程を整理し、理解しましょう。また、明治新政府の政策の特色をまとめ、知識を深めましょう。

教科書・副教材等：地図帳 資料集（浜島書店「学び考える歴史」） ワーク（新学社「自主学习ノート」）

2 学習の計画

学期	学習内容	学習のねらい
1 学期	【地理】 第2章 日本の地域的特色と地域区分	<ul style="list-style-type: none"> ・地形、気候等の視点から日本の地域的特色を理解する。 ・自然災害について理解し、防災、減災への取り組みを考える。
	【歴史】 第4章 近世の日本 2江戸幕府の成立と対外政策 3産業の発達と幕府政治の動き	<ul style="list-style-type: none"> ・江戸幕府の諸政策を理解する。 ・ヨーロッパ文化の伝来や東南アジア各地への日本人の渡航などの対外関係が活発な時期から、外国との交渉が限定された時期へと移っていったことを整理できる。 ・産業や交通の発展、民衆の生活の変化の様子を理解する。
2 学期	【歴史】 第5章 開国と近代日本の歩み 1欧米における近代化の進展 2欧米の進出と日本の開国	<ul style="list-style-type: none"> ・欧米諸国が近代社会を成立させてアジアへ進出したことを理解する。
	【地理】 第3章 日本の諸地域 第4章 地域の在り方	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の諸地域の地域的特色を理解し、学んだことを基にして広い視野から日本全体の地域的特色を考えることができる。 ・地図や統計、写真などの資料を正確に読み取ることができる。 ・身近の地域の課題を調査し、要因を考察する。解決策を構想し、将来像を想像する。
3 学期	【歴史】 第5章 開国と近代日本の歩み 3明治維新 4日清・日露戦争と近代産業	<ul style="list-style-type: none"> ・明治新政府による改革の特色を考え、明治維新によって近代国家の基礎が整えられて人々の生活が大きく変化したことを理解する。 ・立憲制国家が成立して議会政治が始まり、日本の国際的地位が向上したことを理解する。 ・日本で近代産業が発展し、近代文化が形成されたことを理解する。

3 評価の観点・方法(どのような点が、どのような場面で評価されるか。)

観 点	観点の内容(地理)	観点の内容(歴史)	評価の視点・方法
知識・技能	我が国の国土及び世界の諸地域に関して、地域の諸事情や地域的特色を理解しているとともに、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。	我が国の歴史の大きな流れを、世界の背景に、各時代の特色を踏まえて理解しているとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。	事実的な知識の習得と知識の概念的な理解を問うペーパーテスト、ワークシートへの記述等で評価
思考・判断 ・表現	地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて公正に選択・判断したり、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりしている。	歴史に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し複数の立場や意見を踏まえて公正に選択・判断したり、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりしている。	グループでの話し合いや発表、ワークシートへの記述、思考力を問うペーパーテスト等で評価
主体的に学習 に取り組む態度	日本や世界の地域に関わる諸事象について、国家及び社会の担い手として、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題の主体的に追求、解決しようとしている。	歴史に関わる諸事象について、国家及び社会の担い手として、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題の主体的に追求、解決しようとしている。	単元のまとめのワークシートの記述等で、学習を振り返り、さらに調べたいことやよく分からなかったことを整理し、これからの学習に意欲的に取り組もうとしているかなどを評価

4 学習目標を達成するためのアドバイス

(1) 授業の受け方

- ① 学習用具には教科書、地図帳、資料集、ノートなどがありますが、毎時必要に応じて用意します。作業等で色鉛筆を使うこともあるので常備しておくといでしょう。
- ② 授業では、設問をよく読み、また先生の質問や指示をしっかりと聞いて課題や作業に取り組みましょう。
- ③ 話し合いのときと、自分(ひとり)で考えるときをしっかりと区別しましょう。

(2) ノートの作り方(とり方)

- ① 地理と歴史とは別に用意します
- ② 学習プリントは授業ごとにノートに貼っていきます。重要語句等はアンダーラインを引くなどの工夫をしましょう。
- ③ その他、気づいたことがあったら書きとめておきます。
- ④ 最後までやり終えることができなかった箇所は、家に帰ってから補っておきましょう。

(3) 家庭での勉強の仕方(予習、復習、宿題等)

- ① 予習・・・特別な場合(事前調査など)を除き、必要ありません。
- ② 復習・・・その日に学習した内容を、ノートを見ながら思い出してみましょう。そして、重要語句などのポイントを意識しながら教科書を音読してみましょう。
※アドバイス・・・重要語句や年表は、単語帳を作ると覚えやすいものです。
- ③ 宿題・・・夏休みには課題があります。学期中は簡単な作業程度(授業中に終わられなかった場合が中心です)の宿題を出すことがあります。

金ヶ作中学校学習の指針(シラバス)

教科	社会
----	----

学年	3年生
----	-----

1 学習の目標

- (1) 二度にわたるそれまで人類が経験したことのない世界大戦についての理解を深める。
- (2) 第一次世界大戦の様相と日本の立場、それに対するアジア諸国の民族運動の起こりを整理する。また、民主主義(デモクラシー)が強く唱えられ、社会運動の要因を理解する。
- (3) 日本や世界の資本主義的経済システムが世界恐慌によって円滑に機能しなくなり、それを契機に再び世界戦争に突入していく過程を整理し、理解を深める。
- (4) ファシズム諸国とそれに対抗する諸国との二度目の世界大戦の発生と経過、戦争の終結までの流れを整理し、理解を深める。

教科書・副教材等: 地図帳 資料集(浜島書店「学び考える歴史」) ワーク(新学社「自主学习ノート」)

2 学習の計画

学期	学習内容	学習のねらい
1 学期	【歴史】 第6章 二度の世界大戦と日本 第7章 現代の日本と私たち	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の政治・経済・外交の動きなどを、東アジア諸国との関係や欧米諸国の動きに着目しながら、経済の混乱、軍部の台頭、戦争の経緯と大戦の惨禍を理解する。 ・第二次世界大戦後の、日本の民主化と再建、国際社会への復帰について、世界の動きと関連させながら理解する。
	【公民】 第1章 現代社会と私たち 1 現代社会の特色と私たち 2 私たちの生活と文化 3 現代社会の見方や考え方	<ul style="list-style-type: none"> ・現代社会の特色を整理し、それらから影響を受けて生じる課題を解決するため必要なことを考える。
2 学期	【公民】 第4章 私たちの暮らしと経済	<ul style="list-style-type: none"> ・夏休みの課題「税の作文」・「人権作文」作成
	【公民】 第1章 現代社会と私たちの生活(続き) 3 現代社会の見方や考え方 第2章 個人の尊重と日本国憲法 第3章 現代の民主政治と社会 第4章 私たちの暮らしと経済 1 消費生活と市場経済 2 生産と労働 3 市場経済の仕組みと金融	<ul style="list-style-type: none"> ・人権とは、どのような考え方か。そして、「憲法」や「人権」は、私たちの生活にどのように生かされているのか理解する。 ・国や地方では、どのような仕組みで政治が行われているのか。また、私たちはどのように政治に参加していくのか理解する。 ・経済は、消費者や企業、国や地方公共団体の活動で成り立っていることを整理する。経済が私たちの生活にどのような役割を果たしているのか理解する。
3 学期	【公民】 第4章 私たちの暮らしと経済(続き) 4 財政と国民の福祉 5 これからの経済と社会 第5章 地球社会と私たち 終章 より良い社会を目指して	<ul style="list-style-type: none"> ・グローバル化が急速に進む中、地球上の国々や人々は多面的に結びつき、影響し合っていることを整理する。また、この地球社会にはどのような課題があり、その解決のために私たちができることを考える。 ・地理、歴史、公民での学習を生かして、持続可能な社会の形成について考える。

3 評価の観点・方法(どのような点が、どのような場面で評価されるか。)

観 点	観点の内容(歴史)	観点の内容(公民)	評価の視点・方法
知識・技能	我が国の歴史の大きな流れを、世界の歴史を背景に、各時代の特色を踏まえて理解しているとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。	個人の尊厳と人権の尊重の意義、特に自由・権利と責任・義務との関係を広い視野から正しく認識し、民主主義、民主政治の意義、国民の生活の向上と経済活動との関わり、現代の社会生活及び国際関係などについて、個人と社会との関わりを中心に理解を深めているとともに、諸資料から現代の社会的事象に関する情報を効果的に調べまとめている。	事実的な知識の習得と知識の概念的な理解を問うペーパーテスト、ワークシートへの記述等で評価
思考・判断・表現	歴史に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し複数の立場や意見を踏まえて公正に選択・判断したり、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりしている。	社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を現代の社会生活と関連付けて多面的・多角的に考察したり、現代社会に見られる課題について公正に判断したことを説明したり、それらを基に議論したりしている。	グループでの話し合いや発表、ワークシートへの記述、思考力を問うペーパーテスト等で評価
主体的に学習に取り組む態度	歴史に関わる諸事象について、国家及び社会の担い手として、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題の主体的に追求、解決しようとしている。	現代の社会的事象について、国家及び社会の担い手として、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。	単元のまとめのワークシートの記述等で、学習を振り返り、さらに調べたいことやよく分からなかったことを整理し、これからの学習に意欲的に取り組もうとしているかなどを評価

4 学習目標を達成するためのアドバイス

(1) 授業の受け方

- ① 学習用具には教科書、地図帳、資料集、ノートなどがありますが、毎時必要に応じて用意します。作業等で色鉛筆を使うこともあるので常備しておくといよいでしょう。
- ② 授業では、設問をよく読み、また先生の質問や指示をしっかりと聞いて課題や作業に取り組みましょう。
- ③ 話し合いのときと、自分(ひとり)で考えるときをしっかりと区別しましょう。

(2) ノートの作り方(とり方)

- ① 歴史と公民とは別に用意します。
- ② 学習プリントは授業ごとにノートに貼っていきます。重要語句等はアンダーラインを引くなどの工夫をしましょう。
- ③ その他、気づいたことがあったら書きとめておきます。
- ④ 最後までやり終えることができなかつた箇所は、家に帰ってから補っておきましょう。

(3) 家庭での勉強の仕方(予習、復習、宿題等)

- ① 予習・・・特別な場合(事前調査など)を除き、必要ありません。
- ② 復習・・・その日に学習した内容を、ノートを見ながら思い出してみましょう。そして、重要語句などのポイントを意識しながら教科書を音読してみましょう。
※アドバイス・・・重要語句や年表は、単語帳を作ると覚えやすいものです。
- ③ 宿題・・・夏休みには課題があります。学期中は簡単な作業程度(授業中に終えられなかつた場合が中心です)の宿題を出すことがあります。